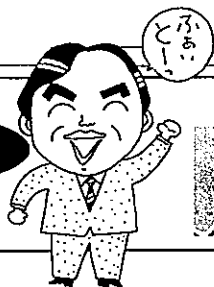


お元気ですか



北海道議会議員 笠木かおる通信

道政事務所

旭川市5条通13丁目右2号
TEL.27-0300 FAX.27-0302

夏を熱く。

鮮やかさを増す、北海道の夏。
晴れ間の多い予感がします。
かおる通信90号をお届けします。
ご一読賜れば幸いです。

北海道議会議員

笠木かおる



旅行会・PG大会は中止。激励の集いは再検討へ。

バス3台を連ねての一泊かおる旅行会と、市内最大級のメジャー大会、第20回笠木かおる杯パークゴルフ大会は、コロナウィルスの関係で「中止」の決定をいたしました。残念です。

7月下旬に予定していた「笠木かおる・激励のつどい」は延期とし、コロナウィルスの状況をみながら、日程や内容を連合後援会（山川博千会長）で再検討していただくことになりました。

パワーアップ事業の継続を道に要望



東旭川地区道営基盤整備事業連絡協議会（矢部茂弘会長）は7月6日、道に対し、パワーアップ事業の継続などを要望しました。

要望活動には島山守穂あさひかわ農協組合長、畑山義裕東旭川農協組合長、外山弘美東和土地改良区理事長なども同行。対応した小田原輝和農政部長らと懇談を深めました。

パワーアップ事業は、水田などの圃場整備事業の農家負担を軽減する制度で、今年度末で終了することから来年度以降の継続が求められています。水田農家で生まれ、農協や改良区に育てられた自分として、思い入れの強い課題。微力を尽くして参ります。



自分は、総合政策委員会、議会運営委員会、人口減少問題調査特別委員会、地方路線問題調査特別委員会の4つの理事を務めさせていただいています。1期生議員で4つの理事を務めるのは珍しいようで、20年の市議会活動が暗黙に評価されているようです。

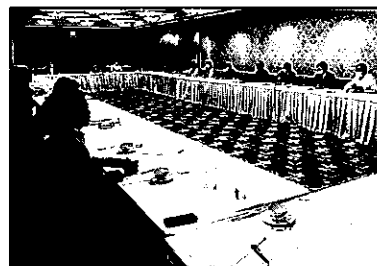
荒れる議会

コロナウィルス関連予算をめぐる、道議会と知事部局の間に緊張関係が続きました。十分な審議を尽くしたい議会と、早期執行のため議会審議を省略したい道側。議会運営は全て、議会運営委員会で決まりますが時折、荒れて、「全会一致」が難しい最近です。



（議会運営委員会風景）

JR鉄道の維持



6月20日、JR鉄道の維持に向けた道内選出国會議員との意見交換会がありました。自分は将来の姿として「上下分離方式」

で、下は（線路・保守）は、道路・港湾と同じく、国が責任を持つことを訴えています。



【近況】孫4人、おかげ様で元気に保育園と学校に行っています。ひなたちゃんは「鬼滅の刃」に夢中。太志くん、匡志くんは日焼けのサッカー少年。レオンくんも日本語で応えるようになりました。



休業要請見直しへ。



6月22日、新しくなった道議会議事堂で一般質問に立ちました。新型コロナウイルス対策で脆弱となった地方経済をどう立て直すのか。「全道一斉の休業要請や休校」の見直しを求めたのに対し、鈴木直道知事は「広大な道内では地域に応じた判断が求められる」と応じました。今後は仮に、第3波が到来し、道が再び休業要請などをする場合、全道一斉ではなく、管内ごとに判断することになります。（一般質問要旨は裏面に）

西川市長に緊急要請

立憲民主党旭川ブロック代表の立場で5月15日、西川将人旭川市長に対し、コロナウィルス対策に関し緊急の要請を行いました。要請内容は、「休業要請の解除を道に求めている」など。これを受け、旭川市など9市の首長で構成する道北市長会は5月20日、「地域に応じた休業要請にしてほしい」と、道に対し、休業要請の解除と見直しを求めました。



新型コロナウイルス対策予算に5088億円



第2回定例道議会は6月16日に開会し7月3日までの18日間の会期で開かれました。このなかでコロナウィルス関連を中心に約4000億円の補正予算を可決。北海道のコロナ関連予算は累計で5088億円になりました。

今年度の北海道予算は全体で約4兆4千億円となり、コロナ対策により過去最大規模となっています。

申請はお済ですか

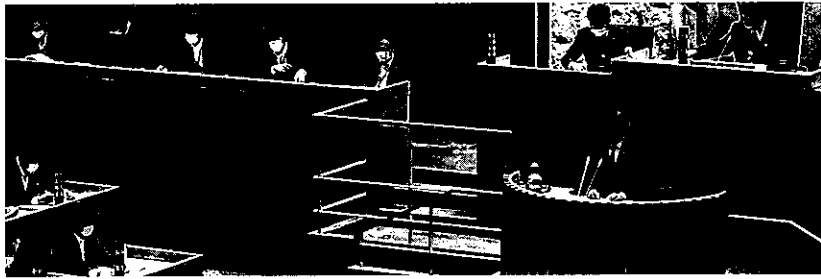
休業に対する道や旭川市の支援金、国の持続化給付金や家賃支援給付金の申請はお済ですか。まだ、申請されていない市民もおられます。道の振興局や旭川市で、相談や申請サポートを受け付けています。お気軽にご相談ください。



大きなご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。



一般質問にたつ



第2回定例道議会で一般質問の機会をいただきました。鈴木直道知事および小玉俊宏教育長、山岸直人道警本部長からの答弁要旨を報告します。(文責・笠木)

◆休業要請の見直し



(笠木) 北海道の面積は83,424km²。九州7県、四国4県、中国地方5県の計16県にほぼ匹敵する面積。全道一斉の休業要請では、地域の実情に全くそぐわない状況が生まれる。見直しが必要だ。

(知事) 今後、仮に休業要請を検討する場合は、道の広域性を十分に認識し、対象地域を慎重に判断していく。

(笠木) 居酒屋さんが良くて何故スナックはお店を開けないのか、本屋さんには良くて古本屋さんは何故ダメなのか等、休業要請対象施設の決定にも様々な声がある。休業対象施設を再検討すべきだ。

(知事) 今後、休業要請を行う対象施設については、その時点の感染状況などを総合的に判断してまいる。



◆全道一斉休校について

(笠木) 放課後児童会に子供たちみんなが集まり、逆にそのほうが、学校にいるよりも「密」になったという例もある。「全道一斉休校」を改め、市町村教育委員会および学校設置者に判断を委ねることを基本とすべきだ。

(教育長) 今後は、感染リスクを低減させながら、学校教育活動を安全に継続できるよう、市町村教育委員会等への適切な指導・助言に努める。



◆支援金や給付金の申請サポート

(笠木) 申請できていない道民も多にいる。制度の周知と申請サポートが喫緊の課題だ。

(知事) 各振興局にサポート相談窓口を設置して、きめ細やかに支援をしていく。



◆JR、空港、バス事業の支援について

(笠木) JR 鉄道維持に向けた機運醸成や国への要望活動が進んでいない。知事の所見は。

コロナ感染は人口密度の高さと比例している。空港も、新千歳空港の一極集中から地方空港の利用促進に重点を置くべきだ。

バス事業への打撃も厳しく、減便や運賃値上げに踏み切らざるを得ないところまできている。バス事業の維持に向けた支援策は。

(知事) JR 単独での維持困難線区については、できるだけ早期に国に対して、実効ある支援を求めてまいる。

北海道エアポートや空港所在自治体と一体となり、道内13空港全体の活性化に取り組む。

バス事業者の切実な声を踏まえ、生活バス路線の確保に、鋭意取り組んでいく。



◆あおり運転、SNS等の誹謗中傷

(笠木) 道警察としてのあおり運転対策、SNS等での悪質な誹謗中傷に対する取り組みは。

(道警本部長) 各方面本部に悪質危険運転対策係を新設し、安全な道路交通の実現に取り組む。誹謗中傷の書き込みやインターネット上でのトラブルが多発しており、啓発や講話活動を行いながら、適切に対応してまいる。



共生園



総合福祉施設「共生園」もコロナウィルス対策の徹底を図っています。残念ながら、いままご家族との面会制限が続きます。端末タブレットでの面会。一日も早く、利用者さんとご家族が直接お会いできることを祈るばかりです。



(水鉄砲を楽しむ利用者さん)



動物園通り産業団地

動物園通り産業団地への企業誘致が進んでいます。

6月5日、地元東旭川地域の代表の皆さんと懇談。日本ハムの移転整備などの状況報告。沿道沿いの商業施設等に関心が寄せられました。

土曜街宣

コロナウィルスで3月からお休みしていた「土曜街宣」を再開しました。買物公園も徐々に人出が戻りつつあります。魅力あふれる中心市街地を作る主役は、市民です。



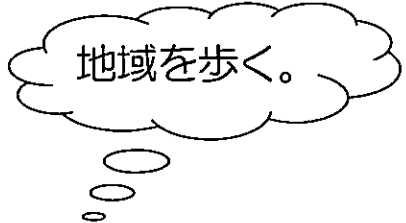
お祭りの再開を



村や町のお祭りで露天を営む、北海道街商協同組合旭川支部(高橋伯明部長)の皆さんが6月17日、来庁されました。お祭りの自粛で露天営業できない切実なお話を聞き、1日も早いお祭りの再開に努めています。



(旭正地区、石坂弘之さんの農場)



3月から5月まで地域周りを控えました。21年議員生活で初めてのことで。6月から再開。隅々のお声を拾って歩きます。

趣味のパークゴルフも今年は今日まで1回のみ。6月13日、道北バス高退協(千葉正人会長)の皆さんに加わり楽しみました。スコアは109と上々。お天気も良く気分爽快でした。



小川孝一さん逝く



昨春の自分の選挙で、選対本部長をお引き受けいただいた小川孝一さんが5月30日、お亡くなりになりました。小川さんは連合旭川の初代会長で、自分が35年前、政党にご奉公以来、言葉に言い尽くせぬお世話をいただきました。どうか、安らかに眠りください。